



# 若小便り



若松小HP用QRコード

令和3年度 若松小学校便り第8号 令和3年11月25日(木) <http://wakamatu.lolita-punk.jp/>

令和3年度重点教育目標 「自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子どもの育成」

## 11月20日(土) 閉校式特集号

### 閉校式校長挨拶 / *Brave by Sara Bareilles 2013*

赤や黄色に目を楽しませてくれていた木々の葉も落ち、長い冬の時期に入りました。

明治、大正、昭和、平成、令和と5つの時代を駆けてきた若松小学校の閉校にあたり、感謝と惜別の気持ちを込め、校長として一言ご挨拶申し上げます。

校舎に向かう坂道の途中にある石碑に刻まれているとおり、本校は明治34年7月26日に校舎が完成し、公立栄石尋常小学校と称して創立されました。大正に入る前後から児童数は200名前後を維持しつつ、大正10年には公立若松尋常高等小学校と改称され、校舎も遊楽部岳を見渡せる現在地へ移転しております。大正15年には、落葉松2,000本、トド松1,000本の記念植樹が行われ、今年度「若小の森」と名付けた裏山の原型が形作られました。この「若小の森」は、かつてはPTAによりクロスカントリーコースが作られたことがありました。また、今では、シイタケ栽培を行ったり、森林教室を行ったりと、子どもたちのよい環境教材となって活躍しております。

学校制度の関係から幾度かの校名の変更が行われながら、昭和34年には、児童数350名と最大数を記録したものの、そこから児童数の減少が加速化し、平成10年代には完全複式校となりました。その後は、児童一人一人に確かな学力や体力を身に付けさせるための複式指導の充実に努め、檜山へき地複式教育研究大会や実践講座の会場校を幾度か努めるなど、本校の複式教育研究の成果を、広く管内に発信してきたところです。

このように、本校は、豊かな自然環境の中で、地域に根ざした特色ある教育活動に力を注いでまいりました。保護者や地域の皆様方的一方ならぬご支援・ご協力を賜ることで、子どもたちの健やかな成長と良き思い出づくりのために、常に地域・保護者・学校が一体となって教育活動を継続してこれたことにあらためて感謝申し上げます。

コロナウィルス感染者数の拡大と共に教育活動の制限が大きく影響したこの2年となりましたが、皮肉なことに、全校児童数が一桁という極小規模校だからこそ、ほぼ全ての教育活動が例年並みに、いやそれ以上の数や規模で行うことができました。これもまた、保護者や地域の方々が感染予防対策にしっかり取り組まれ、ご協力いただいたことによるものです。ありがとうございます。

このあと3月の修了式までの期間もまた、様々な取組を継続してまいりますので、皆様方の変わらぬお力添えをお願い致します。特に3月25日の修了式には、地域の方々にご参集いただき、多くの方々と共に若松小学校最後の日を過ごす時間を設け、子どもたちを送り出させていただく会を考えております。あらためてお声をかけさせていただきますので、その際にはご協力よろしくお願い致します。

さて、児童の皆さん。若松小学校で過ごした日々は、皆さんの心の中にしっかりと刻まれているはず。皆さんは一人一人が主役となって、2年前に改訂された新しい教育目標「自ら学び運動する子」「世界の広がりを感じる子」「困難を乗り越え思いやる子」の達成を目指し、毎日の学校生活を送り、様々な行事に取り組んできました。全校で協力し合い身に付けた皆さんの力を、新しい学校に行っても自信と誇りを持って十分に発揮し、大いに活躍していくことを信じています。皆さんが、今年度一年かけて取り組んでいる「365日の紙飛行機」の様々なアレンジのように、それぞれの異なる個性を十分に生かして、大いに大空を舞ってください。

ご来場の皆様にお渡しした封筒の中にしおりが入っております。これは、子どもたちが、本校の桜の花が咲いた時に花を摘み、押し花の先生に教えを請い作成した花を用いて一つ一つ心を込めて完成させたものです。どうか大切に使用していただけたら幸いです。

閉校にあたり「閉校記念事業実行委員会」を起ち上げ、限られた時間の中で閉校記念事業を進めていただきました実行委員長、岡本りん太郎様をはじめ実行委員の皆様、並びに地域・保護者の皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。これからも、若松校区の児童生徒の健全育成にお力添えをお願い致します。

結びになりますが、若松小学校に個々の新風を持ち込み、素晴らしい校風を築き上げてくださいました歴代校長先生をはじめ教職員の皆様、歴代PTA会長の皆様をはじめ、PTA会員及び賛助会員の皆様、卒業生の皆様、そして、せたな町及びせたな町教育委員会、檜山教育局など全ての関係者の皆様、これまで本校の教育活動に想いを寄せていただきました全ての皆様に、心より感謝申し上げます、挨拶といたします。

令和3年11月20日

せたな町立若松小学校 第36代校長 本谷弘之

※ サラ・バレリスのBrave(ブレイヴ)は、「ただ見ただけ、あなたが勇気を出すところを」と爽やかな歌声で聴く者を元気付ける、明るいPOPミュージック。閉校は淋しいことだけれど、自分を信じて勇気を出して次のステップへ進んでほしい。そんな思いが届いてくれたらいいな。と、今回は子どもたちへ贈る曲を選んでみました。

## アトラクションの様子を写真で紹介

閉校式のアトラクションでは、子どもたちが若松の四季の思い出を「呼びかけ」で表し、「365日の紙飛行機」「イマジン」を演奏。いきものかかりの「ありがとう」をお母さん方と教職員で合唱しました。



内容の詳細については、  
本校HPをご覧ください。

## お別れの言葉 / 児童会長挨拶

「大好きな若松小学校」

今、私は、この若松小学校の児童会長として、この6年間の様々な出来事を思い出しているが、楽しい場面がたくさんあることにとても驚いている。

その一つに学校行事。

数ある中で、私が一番心に残っているのは、4年生の時の「収穫感謝祭」だ。招待客に振る舞うピーマンの肉詰めを青木先生の指導のもと、朝から一生懸命に作った。なかなか焼けなくて、ふたを何度も開けて、確認した。でも作ることは楽しいなと思った。そして、この年は、JA青年部の協力を得て、若松ポークマンの豚丼を作ってもらい、とても美味しく、まさに夢のレストランだった。

この収穫感謝祭は、JA青年部の方々の他に農業センター、Oさん、公務補のBさん、たくさんの人たちに支えられて感謝の気持ちを伝える行事であり、1年の集大成ともいえるイベントであった。

いつもやさしく見守ってくれた地域の人たち

運動会、学習発表会、地域参観日など、学校によく足を運んでくれた地域の方々。運動会では、みんな一丸となつてのりレーや玉入れ、ジュンカやよさこいの踊り、お楽しみ抽選会などで盛り上がった。学習発表会では、地域合唱でハーモニーを作り、とても気持ちよく歌えた。

頼もしい上級生たち

私が低学年のとき、私のお世話係として毎日髪を結んでくれたAさん。やさしいお姉さんができた気がして、とてもうれしかった。運動が苦手な私に走り方を教えてくれて、みんなの兄似的な存在のK君。言う通りに走ってみたら、本当に速く走ることができてびっくりした。

絵が上手で読書好きのMさん、私もMさんみたいになりたいと思った。Rさん、Aさん、T君、H君、いつも一緒に、楽しく笑い、みんなのお手本となる先輩たちだった。

こんなにも上級生と密に関わり、距離が近い存在であることも小さな学校の特権だろうと思う。

ここでは、一人ずつ伝え切れない頼もしい先輩たちが若松小学校にはたくさんいた。

次に今、一緒にいる仲間たち

年々、全校児童が減り、今年度は4人の仲間たちと過ごしている。2年生の私によくなつくMさん、3年生の元気なT君、5年生の器用なR君、そして唯一同級生のおもしろいK君。4人の仲間と過ごしたこの1年は私にとって特別な1年となるだろう。

森林教室で作った「若小の森」の看板には、それぞれの学年と名前が刻まれている。「この看板10年は持つよ。」と聞き、10年後、みんなでこの看板に会いに来よう。」と約束をした。10年後、みんなはどんな感じになっているのかな？と想像するだけで楽しくなってしまった。

最後に

これまでたくさんの人が通ってきた歴史あるこの若松小学校。

閉校することに、今はまだ実感のない私だが、たくさんの方の「ありがとう」を伝えたい。

先輩たちにありがとう

今いる仲間たちにありがとう

地域の方々にありがとう

先生方にありがとう

そして若松小学校にありがとう



児童代表 植村優梨夏

令和3年11月20日



今回の職員原稿は、この4月から、閉校業務の事務全般を担当していただいていた藤井さんに原稿を担当していただきました。閉校に関して町教委との連絡調整や細かな段取りは全て藤井さんが行ってくださったおかげで、スムーズにここまで進めることができました。11月いっぱい勤務となるのが淋しく感じます。ありがとうございました。

## 驚きです！

臨時事務職員 藤井尚久

4月から若松小学校で勤務させていただき、後少しで退任します。数か月の勤務でしたが、教室や職員室の環境が随分変わったと思いました。

若い頃、オーディオ機器の勉強がたくて夜学の電子専門学校に通い、プレーヤーやアンプ、スピーカー等の製作や修理を学びました。当時、CDやMDなどは無く、レコードが主流でした。ましてやスマホで音楽を聴くなどありえない鉄腕アトム的未來の世界でした。ステレオアンプは真空管、テレビはブラウン管・・・プリント基板や液晶パネルなど考えられない夢物語でした。

私が学校に勤め始めた昭和50年代前半は、放送機器関係は視聴覚室や職員室にテレビ、OHP等の映写機類、カセットテープレコーダーがある位でした。教室には、黒板ふきクリーナーなどは無く、棒で叩いていました。印刷などは、ガリ版と鉄筆で手摺印刷か数ヶ月で文字が消えてしまう液体の青刷りコピー、その後1枚の原稿が出来るまで10分近くかかるファックス印刷で文書を作成していました。

35～6年前からは学校でコピー機が普及し、和文タイプライターがワープロに、そしてパソコンによる文書作成と変わりました。これら職員室の仕事道具の進歩もそうですが、教室では子どもたちが個々にパソコンを持ち、普通に使いこなしています。夏休みには家にいながら先生とパソコンによるオンライン学習を行い、特にオーストラリアのタスマニア島の学校と楽しくオンライン交流する姿には驚きました。

学校を去っても、ポオ～としながら唄の「時の流れに身をまかせ」のままではなく、乗り遅れないよう頑張りたいと思います。ところで、今レコードが静かなブームだとか・・・嬉しい気持ちとともに自分で作ったアンプなどは捨てないでいよう！と思う昭和生まれの私です。



## 12月の行事予定 (※今後の情勢により変更になることもあります)

日	曜	行事予定	バス	日	曜	行事予定	バス
1	水	全校集会(業間)	14:40	17	金	児・委(業間) 百人一首クラブ③	14:40
2	木	児・委(業間) 2・6年北小参観日	14:40	18	土		
3	金		14:40	19	日		
4	土	親子で聴くコンサート(14:00～)		20	月		14:40
5	日			21	火		14:40
6	月		14:40	22	水		14:40
7	火		14:40	23	木		14:40
8	水	児童会・委員会(業間) 食育指導	14:40	24	金	終業式	12:00
9	木		14:40	25	土		
10	金	百人一首クラブ②	14:40	26	日		
11	土			27	月	寺子屋①	
12	日	日曜地域参観日	13:30	28	火		
13	月	振替休業		29	水	年末休業日(学校閉庁日)	
14	火	芸術鑑賞	14:40	30	木	年末休業日(学校閉庁日)	
15	水	スパ水	14:40	31	金	年末休業日(学校閉庁日)	
16	木		14:40				